

# 好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる  
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—  
教育委員会や学校園の情報をお知らせします。



▲昨年の楠丘小学校入学式

## 保護者の皆さんへ 小・中学校の就学通知書を送付します

平成27年4月に小・中学校へ入学予定の方には、1月中旬に住民登録に基づいて、お子さんが入学する指定校への就学通知書を送付します。なお、特別な理由がある場合には、入学する学校を変更することができます。

通知書に記載されている指定校は、次の特別な理由がある場合に変更できます。  
また、現在、小学校・中学校へ通学中の方も特別な理由がある場合は、年度途中でも変更ができます。

### 特別な理由とは「↓」

- ①地理的理由  
指定校への通学が地理的に著しく困難または危険な場合
- ②身体的理由  
特別支援学級入級希望者で、指定校に特別支援学級が設置されていない場合
- ③家庭事情に関する理由  
保護者の就労・病気等のため、指定校区以外の家庭で児童生徒の保護、または保護者が指定校区以外の就労場所等で児童生徒の保護が必要な場合
- ④その他の理由  
▽特認校制度を利用して双葉小学校への入学を希望する場合  
▽国立・私立に入学する場合

### 手続きの方法は「↓」

- 申請書の提出が必要です。提出先は次のとおりです。
- ①指定校以外の市立学校に入学  
市教育委員会へ
  - ②他市町立の学校に入学  
市教育委員会へ
  - ③国立・私立の学校に入学  
その学校の入学許可書と印鑑を持って市教育委員会へ
- ※いずれの場合も事前にお問い合わせください。

### 問合せ

学校教育課  
(市役所内線536)

## あぐいこうら 77 自然の恵みを人から人へ



市では「西脇ファーマーズブランド」を通じて、市内産農産物の魅力向上、自然にやさしい安全、安心な農産物の生産拡大を進めています。

### イチゴ栽培のパートナー

イチゴがきれいで大きな実をつけるために、大切な作業があります。それは花が咲いたら行う受粉作業です。確実に受粉ができていないと実ができなかったり、いびつな形のイチゴができたりします。基本、植物は虫や鳥、風などによって自然受粉をしています。しかし、ハウスの中で栽培

しているイチゴは、自然による受粉交配に期待することはほぼ不可能です。一つずつ丁寧に人の手で筆などを使って受粉作業を行うこともできるのですが、重労働であるばかりか、なかなかきれいな形にならないそうです。そこで、その受粉作業を自然に近い形で行ってくれるパートナーがミツバチです。

市内の養蜂農家の協力を得て、ハウス内を飛び回るミツバチが花から花へと蜜を吸うために飛びまわることで受粉交配を行ってくれます。ハチといえば、人を刺す怖い虫というイメージがありますが、イチゴ栽培にとってはとても大切なパートナーです。

◆問合せ 農林振興課  
(市役所内線323)

## 西脇市消費生活センター

☎22-3111(生活環境課内)  
No.112  
契約! 20歳になったら慎重に

未成年と違って20歳になると親の同意がなくても自分の意思で自由に「契約」することができます。

「契約」とは、法的責任を伴う約束で、当事者双方が守らなければならないものです。「申し込み」と「承諾」の意思が一致すると、契約は成立します。契約書に印鑑を押さなくても、電話や口約束でも契約が成立することをご存じですか。

「契約書」は、トラブルを防ぐために契約内容を明らかにし、証拠として残すためのものです。お互いに納得した内容であれば契約書は必要なく、契約形式は決まっています。いったん契約が成立すると、クーリング・オフなどの特別な場合を除いて、一方的に契約を取り消すことはできません。相手が同意すれば解約できますが、解約料を請求されることもあります。私たちの消費生活は契約によって成り立っています。契約は基本的に解消できませんが、販売方法に問題がある場合は、契約を取り消すことができます。契約について困った時は消費生活センターにお気軽にご相談ください。

## 心のスケッチ 72 「命をいただく」ということ 人権教育室コラム

新年明けましておめでとうございます。  
年末に、友人と鍋を囲む機会がありました。久々に会った友人もおり、話にも花が咲きました。そんな時、ふと、鍋の中の「お肉」が目にとまりました。  
先月の広報にしわき12月号で特集されていた「世界の舌を魅了する黒田庄和牛」という記事が頭に浮かびました。子牛の仕入れから枝肉(出荷用に処理した肉)の出荷まで携わってこられた女性がこう話していました。  
「愛情を込めて世話する日々。牛舎に来てから子牛が育つまでの2年間、1日たりとも気の休まる時はありません。病気の予兆はないか、しっかりとえさを食べているか、同部屋の子牛と仲良くやっているか...」  
さらに、次のように言われていました。  
「出荷の日は、無事に送り出せてほっとする一方で、2年間苦楽を共にした牛たちとの別れが悲しくて複雑な気分になります」

また、精肉店を舞台にしたドキュメンタリー映画「ある精肉店のはなし」を見たときのことを思い出しました。その映画の中に、育てた牛が小売店に並ぶ「お肉」になるまでの過程を描いている場面がありました。精肉店の人たちは「みんなに喜んでもらえる、おいしい『お肉』をつくるのです」と言いながら、力を合わせて、一生懸命に働いておられました。  
小売店に並ぶ「お肉」は普段、何げなく目にはしていませんし、当たり前のように口にします。  
しかし、今回、「お肉」になるまでには、多くの人が関わり、さまざまな過程があるのだということにあらためて気づくことができました。  
私たちは毎日、食べ物を食べながら生きています。「生きる」ということは「命をいただく」ということです。私たちの命は、多くの命に支えられているということを忘れずにいたいと思います。  
(人権教育室)



最優秀賞/橋本直子さんの作品「大きくなあれ」

### <全応募作品を展示します>

- ①~1月12日(月) 北はりま旬菜館
  - ②1月14日(水)~30日(金) 黒っこプラザ
  - ③2月1日(日)~15日(日) 総合市民センター
- ◆問合せ 生涯学習課  
(総合市民センター内/☎22-5996)

## 男女共同参画フォトコンテスト結果発表

「私のまわりのすてきな人」をテーマに男女共同参画にまつわる写真を募集したところ、市内外から25枚の素敵な写真が集まりました。

10月に開催した男女共同参画セミナー参加者の投票をもとに、「もっとすてきに“パートナー”委員会」で厳正な審査を行い、次のような結果となりました(敬称略)。

- ♪入賞者の皆さん♪
- 最優秀賞 橋本直子(西宮市)
  - 優秀賞 江口のり子(西脇市)  
野沢沙織(栃木県小山市)
  - 入選 都倉重忠(加古川市)  
笹倉亜弓(西脇市)  
伊藤香代子(西脇市)
  - 個性キラリ賞 竹本武志(西脇市)
  - ともしらが賞 松岡拓弥(西脇市)